



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月14日

上場会社名 西本Wismettacホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9260 URL <http://www.wismettac.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 孝行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 木村 敦彦 (TEL) 03-6870-2015
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 平成30年9月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	90,251	4.2	3,063	△6.0	3,077	0.8	2,183	50.7
29年12月期第2四半期	86,646	—	3,260	—	3,053	—	1,448	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 1,170百万円(309.8%) 29年12月期第2四半期 285百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	152.11	—
29年12月期第2四半期	115.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	82,884	49,918	60.2
29年12月期	84,336	49,753	59.0

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 49,918百万円 29年12月期 49,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	70.00	70.00
30年12月期	—	40.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	55.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	184,814	7.4	6,775	7.1	6,681	12.9	4,664	52.1	324.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年12月期2Q	14,353,140株	29年12月期	14,353,140株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	67株	29年12月期	36株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年12月期2Q	14,353,087株	29年12月期2Q	12,493,240株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、平成30年8月14日(火)にT D n e t で開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、平成30年8月21日(火)に当該資料をもとに機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[当第2四半期連結累計期間の概況]

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、全体としては緩やかな回復が続いているものの、中国をはじめアジア新興国等の経済の先行き、各国の政策に関する不確実性、通商問題の動向等依然として先行きが不透明な状況が続いております。

一方、わが国経済は企業業績や雇用環境にも改善が見られる等、全体的には緩やかな回復基調が継続しております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、日本食をはじめとしたアジア食品・食材を北米を中心に欧州、中国・東南アジア、豪州等で販売を行う「アジア食グローバル事業」、及び青果物・水産物等を国内市場を中心に中国・東南アジア等で販売を行う「農水産商社事業」を主たる事業として業績の向上に努めてまいりました。

アジア食グローバル事業におきましては、北米地域の成長に加え、北米以外の地域における事業基盤の拡充を当社グループの成長戦略の一つとして積極的に市場開拓を進めてまいりました。農水産商社事業におきましては、主力販路である卸売市場に加え、それ以外の販路(量販店、外食・中食産業等)並びに海外販路(国産青果物の輸出、青果物の三国間貿易、中国国内における卸売事業)の拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高902億51百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益30億63百万円(前年同期比6.0%減)、経常利益30億77百万円(前年同期比0.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益21億83百万円(前年同期比50.7%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

[セグメント別業績の概況]

① アジア食グローバル事業

アジア食グローバル事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高605億65百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益25億28百万円(前年同期比18.5%減)となりました。

北米地域におきましては、売上高は順調に伸長いたしましたが、基幹商材である米等の仕入価格が上昇したこと、並びに前連結会計年度より継続している人件費及びガソリン価格をはじめとした物流部門等の経費上昇により、減益となりました。同地域におきましては、従来より進めている構造改革(利益率の改善と物流経費の抑制)への取り組みをより一層強化し、収益性の向上に努めてまいります。

北米以外の地域におきましては、新規顧客開拓と既存顧客の底上げが順調に伸長し、事業基盤の拡充が進んだため、増収増益となりました。

② 農水産商社事業

農水産商社事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高278億35百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益5億31百万円(前年同期比233.7%増)となりました。

売上高につきましては、海外販路向けのアボカド、小玉りんご等の販売が順調に推移したことにより伸長しました。利益面におきましては、前年同期に苦戦した国内向けの柑橘類及びトロピカル商材が今期は持ち直したことにより、増収増益となりました。

③ その他事業

その他事業の当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高18億51百万円(前年同期比12.2%増)、営業利益20百万円(前年同期は14百万円の営業損失)となりました。

国内向けシーズン商品、キャラクター商品等の販売伸長により、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億52百万円減少し、828億84百万円となりました。主な要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、747億31百万円(前連結会計年度末比9億32百万円減少)となりました。流動資産の減少は、たな卸資産の増加3億33百万円があったものの、現金及び預金の減少11億70百万円があったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、81億53百万円(前連結会計年度末比5億20百万円減少)となりました。固定資産の減少は、建物及び構築物(純額)の減少2億67百万円、顧客関連資産の減少1億97百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ16億18百万円減少し、329億65百万円となりました。主な要因は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、212億13百万円(前連結会計年度末比15億64百万円増加)となりました。流動負債の増加は、短期借入金の減少16億72百万円があったものの、1年内返済予定の長期借入金の増加15億85百万円、支払手形及び買掛金の増加12億47百万円があったことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、117億51百万円(前連結会計年度末比31億82百万円減少)となりました。固定負債の減少は、長期借入金の減少31億78百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億65百万円増加し、499億18百万円となりました。純資産の増加は、為替換算調整勘定の減少10億円があったものの、利益剰余金の増加11億78百万円があったことによるものであります。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、300億74百万円となり、前連結会計年度末から12億12百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、35億12百万円の資金の獲得となりました。主な要因は、法人税等の支払額8億74百万円、たな卸資産の増加8億48百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益30億77百万円、仕入債務の増加14億89百万円があったことによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して資金の獲得が20億円増加(前年同期比32.2%収入増)しておりますが、主に、仕入債務の増減額が5億19百万円の収入減となったものの、法人税等の支払額が8億95百万円の支出減、たな卸資産の増減額が7億8百万円の支出減、税金等調整前四半期純利益の増加5億41百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億84百万円の資金の支出となりました。主な要因は、無形固定資産の取得による支出1億34百万円、有形固定資産の取得による支出62百万円によるものです。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して資金の支出が3億7百万円減少(前年同期比51.9%支出減)しておりますが、主に、定期預金の純増減額が15億52百万円の支出増となったものの、関連会社株式の取得による支出10億96百万円が当第2四半期連結累計期間に発生しなかったこと、貸付金の支出の減少4億71百万円、有形固定資産の取得による支出の減少2億82百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、39億12百万円の資金の支出となりました。主な要因は、短期借入金の純増減額の減少14億50百万円、長期借入金の返済による支出14億30百万円、配当金の支払額10億2百万円によるものです。

また、前第2四半期連結累計期間と比較して資金の支出が56億7百万円増加(前年同期は16億94百万円の資金の獲得)しておりますが、主に、短期借入金の純増減額の減少による支出の増加32億62百万円、長期借入金の返済による支出の増加13億50百万円、配当金の支払額の増加9億97百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期通期の業績予想につきましては、平成30年2月14日に公表いたしました「平成29年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載のとおりであり、業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,303	30,133
受取手形及び売掛金	18,816	19,001
たな卸資産	23,185	23,519
繰延税金資産	553	513
その他	2,066	1,822
貸倒引当金	△262	△258
流動資産合計	75,663	74,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,455	2,188
機械装置及び運搬具(純額)	451	403
工具、器具及び備品(純額)	105	92
リース資産(純額)	246	213
その他(純額)	280	248
有形固定資産合計	3,538	3,145
無形固定資産		
のれん	760	704
ソフトウェア	195	185
顧客関連資産	1,174	977
その他	114	237
無形固定資産合計	2,245	2,104
投資その他の資産		
投資有価証券	1,303	1,283
差入保証金	365	359
繰延税金資産	484	567
その他	762	718
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	2,889	2,903
固定資産合計	8,673	8,153
資産合計	84,336	82,884

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,959	11,206
短期借入金	4,935	3,262
1年内返済予定の長期借入金	151	1,737
リース債務	60	57
未払金	2,322	2,563
未払法人税等	195	425
賞与引当金	525	384
株主優待引当金	—	19
その他	1,497	1,557
流動負債合計	19,648	21,213
固定負債		
長期借入金	12,612	9,433
リース債務	191	160
繰延税金負債	221	175
役員退職慰労引当金	494	526
退職給付に係る負債	1,007	1,066
その他	406	389
固定負債合計	14,934	11,751
負債合計	34,583	32,965
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,646	2,646
資本剰余金	6,531	6,531
利益剰余金	39,173	40,351
自己株式	△0	△0
株主資本合計	48,351	49,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	10
繰延ヘッジ損益	8	1
為替換算調整勘定	1,378	377
その他の包括利益累計額合計	1,402	389
純資産合計	49,753	49,918
負債純資産合計	84,336	82,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	86,646	90,251
売上原価	71,949	74,913
売上総利益	14,696	15,338
販売費及び一般管理費	11,436	12,274
営業利益	3,260	3,063
営業外収益		
受取利息及び配当金	43	55
持分法による投資利益	27	—
受取保険金	0	172
その他	8	18
営業外収益合計	79	246
営業外費用		
支払利息	96	88
為替差損	189	141
持分法による投資損失	—	0
その他	0	2
営業外費用合計	286	232
経常利益	3,053	3,077
特別利益		
特別利益合計	—	—
特別損失		
減損損失	517	—
特別損失合計	517	—
税金等調整前四半期純利益	2,536	3,077
法人税、住民税及び事業税	1,167	981
法人税等調整額	△80	△86
法人税等合計	1,087	894
四半期純利益	1,448	2,183
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,448	2,183

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,448	2,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△5
繰延ヘッジ損益	△38	△6
為替換算調整勘定	△1,126	△935
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△64
その他の包括利益合計	△1,162	△1,012
四半期包括利益	285	1,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285	1,170
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,536	3,077
減価償却費及びその他の償却費	557	553
減損損失	517	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△59	1
受取利息及び受取配当金	△43	△55
支払利息	96	88
持分法による投資損益(△は益)	△27	0
為替差損益(△は益)	136	112
売上債権の増減額(△は増加)	△328	△506
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,557	△848
仕入債務の増減額(△は減少)	2,008	1,489
未払金の増減額(△は減少)	△30	253
賞与引当金の増減額(△は減少)	△176	△130
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	19
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21	91
その他	△421	94
小計	3,230	4,240
利息及び配当金の受取額	48	54
利息の支払額	△88	△94
法人税等の支払額	△1,770	△874
法人税等の還付額	92	185
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,512	3,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△345	△62
無形固定資産の取得による支出	△18	△134
関連会社株式の取得による支出	△1,096	—
子会社株式の追加取得による支出	△167	—
貸付けによる支出	△471	—
定期預金の純増減額(△は増加)	1,514	△38
その他	△7	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△592	△284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,812	△1,450
長期借入金の返済による支出	△79	△1,430
自己株式の取得による支出	—	△0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△32	△28
配当金の支払額	△4	△1,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,694	△3,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	△474	△526
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,140	△1,212
現金及び現金同等物の期首残高	22,909	31,286
連結子会社と非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	117	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,167	30,074

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の在外連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アジア食グ ローバル事業	農水産商社 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	58,002	26,994	1,649	86,646	—	86,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,949	178	—	7,128	△7,128	—
計	64,951	27,173	1,649	93,774	△7,128	86,646
セグメント利益又は損失(△)	3,104	159	△14	3,248	11	3,260

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額11百万円には、セグメント間取引消去△99百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)111百万円が含まれております。全社収益は、主に各報告セグメントからの受取配当金であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「アジア食グローバル事業」セグメントにおいて、日本食材・食品の輸入卸売業における香港子会社の事業用資産については、一部の顧客関連資産の用途を見直したことに伴い、回収可能額を零と見積り、減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前第2四半期連結累計期間においては517百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アジア食グ ローバル事業	農水産商社 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	60,565	27,835	1,851	90,251	—	90,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,988	74	—	7,062	△7,062	—
計	67,553	27,909	1,851	97,314	△7,062	90,251
セグメント利益	2,528	531	20	3,080	△16	3,063

(注) 1. セグメント利益の調整額△16百万円には、セグメント間取引消去△1,216百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)1,199百万円が含まれております。全社収益は、主に各報告セグメントからの受取配当金であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。